

デザイン総合実習Ⅱ

Design Synthesis Practice II

02

張 浦華(准教授)

三谷 篤史(准教授)

小宮 加容子(講師)

柿山 浩一郎(講師)

長谷川 聡(助教)

デザイン学部 製品デザインコース

プレゼンテーション

学生より

【A】表紙

【B】生体情報認識に関する調査

の披露(一人、4分以内) + 教員からの講評

タイムキープを行います。2分で一鈴、3分で二鈴をならします。

出題【C】

本実習では「問題解決型の提案」を発想法の流れとして体験する。

0. 15年後の未来、日常生活を思い描きなさい。
(15年前の生活の調査をして、その差分を考慮する、等)
1. 15年後の日常生活にある不便な点、解りにくい点、危険な点等、
問題点を列挙し、分類・カテゴライズを行いなさい。
2. その際、問題点を解りやすくし、新しい視点を発見する為の
「まとめかた」に関する独自の表現
(分類・カテゴライズの方法)を模索しなさい。

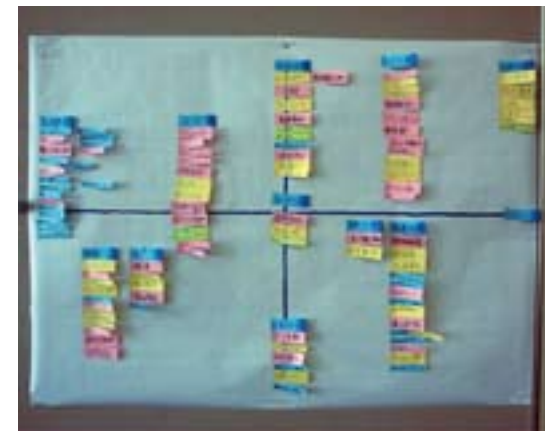
▽スキル解説

発想法 (発散思考)

「ブレインストーミング法」に関して

発想法 (収束思考)

「KJ法」に関して



ブレインストーミング法 (集団発散型自由連想発想法)

ブレイン(頭)ストーミング(嵐)法は、世界で最も普及している発想法です。会議の構成員が自由に、上下の区別なく発言する、つまり「むずかしいことは後にして、人を楽しませるようなことを、気楽にしゃべってみよう」という発想法。一人でも可

ブレインストーミングの4原則

1. 批判厳禁 (良い悪いの判断をしない)
2. 自由奔放 (どんな思いつきでもよい)
3. 大量発想 (とにかくたくさんアイデアを出す。質より量)
4. 結合改善 (アイデアを組み合わせたたり、発展、飛躍させてよい)

ポイント: 高揚した気分で楽天的に、具体的なテーマで行う。

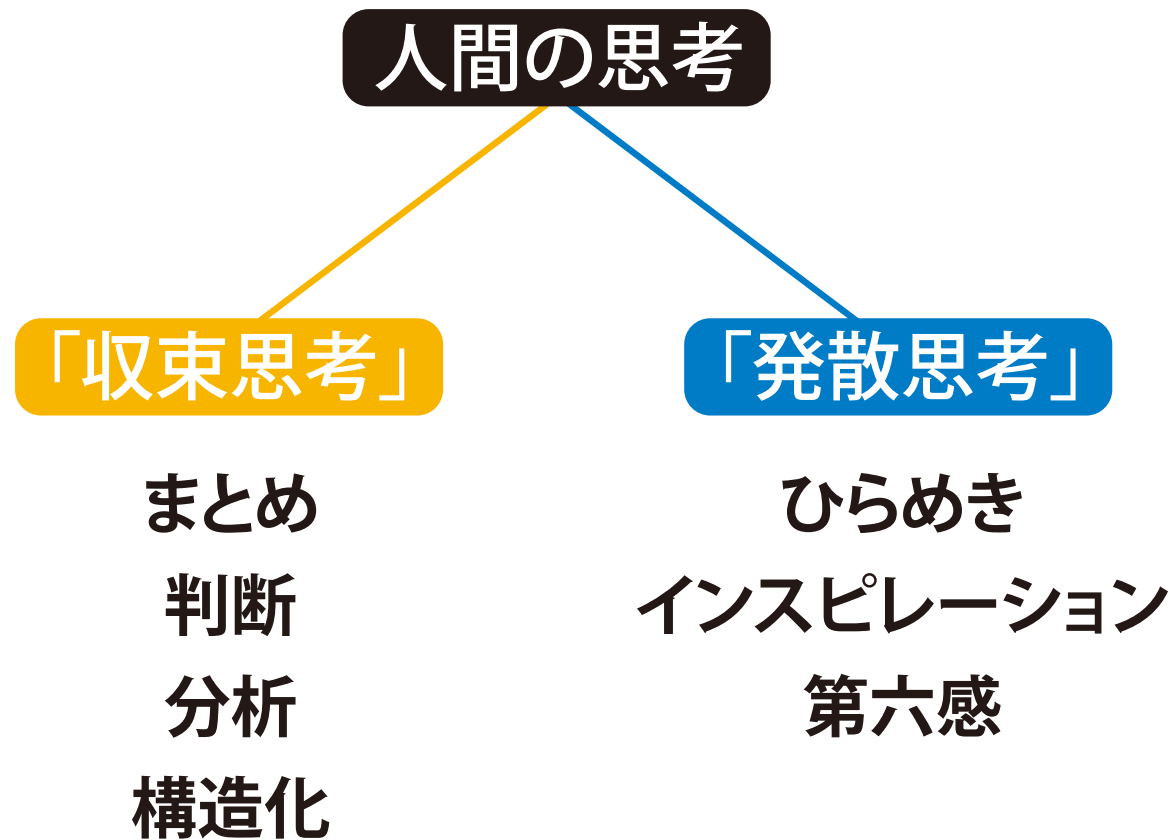
リーダーが計画的に会議の進行を図ると良い。

KJ法

ブレインストーミング法などで発想されたアイデアの一つ一つをカードにして並べ、それらの意味的なまとまりを考えグルーピングしていく手法です。情報の組み合わせにより新たな意味を発見し、アイデアを収束させることもできます。

ブレインストーミング法では批判(判断)をしませんでしたが、KJ法ではアイデアを収束する(まとめる)ものなので徹底的に批判してかまいません。その上でグルーピングを行います。KJ法では丹念に何度も、アイデア同士の関連を読み込みますので、情報を結ぶ糸が見えてくることになります。

人間の思考



この2つをはっきり区別し、効果的に「思考」する必要がある

アイデア創造時の頭の切り替え

まとめたり評価する

「収束思考」

領域法
系列法

分けて
実施

思いついて数を出す

「発散思考」

自由法
強制法
類似法

発法と収法をすぐ繰り返すのはNG

KJ法の具体的なやり方

1. 名刺程度の大きさのカードを準備する。
2. 思いついたアイデア一つ一つをカードに書く。(30字以内)
3. 床一面に並べる。
4. 一枚一枚のカードの相互の繋がりを一つずつ検討する。
5. 関係の深いカードを近づける。(先入観でグループ化しない。)
6. カードを並べ替えグループ化・系統化。削ったり加えたりする。
7. 次第に構造を作り上げ、配置を検討、整理する。
8. 必要に応じてグループの表札や、相互関係の矢印等を加える。
9. 最期にグループの意味を文章化する。

【課外】実習課題

1. ブレインストーミング法を用いて、5名程度のグループで、15年後の日常生活の中に潜む問題点を抽出しなさい。
2. 問題点を付箋にキーワードとして記入しなさい。
3. これらのキーワード付箋、模造紙をもちい、KJ法を通して問題点の構造・関係を明かにしなさい。
4. 完成したKJマップを参考にし、各自メモをとりなさい。
5. メモを参考に、独自の解釈・表現で、問題点をまとめなさい。【C】

出題【D】

【C】で明かにした日常生活に潜む問題点の解決を行う際、単なる解決だけでは意味がない。**問題が解決されることにより「LifeStyleにどれだけの変化がもたらされるか」といった新しい視点が重要である。**問題を解決できる魅力の高い製品（サービス）のアイデアを10以上出し、各アイデア毎に簡易な解説シートを作成しなさい。

解説シートの内容：(A4横)

- アイデアのタイトル
- 着目した問題点
- 提案する製品（サービス）のフリーハンドスケッチ
- LifeStyleがどのように変化するかの解説図・スケッチを含むものとする。裏面に、学籍番号、氏名を記述のこと。

シートの記入例 (若干リアリティが無いが、これくらいの弾け方が欲しい、)

Idea sheet

アイデアの
タイトル

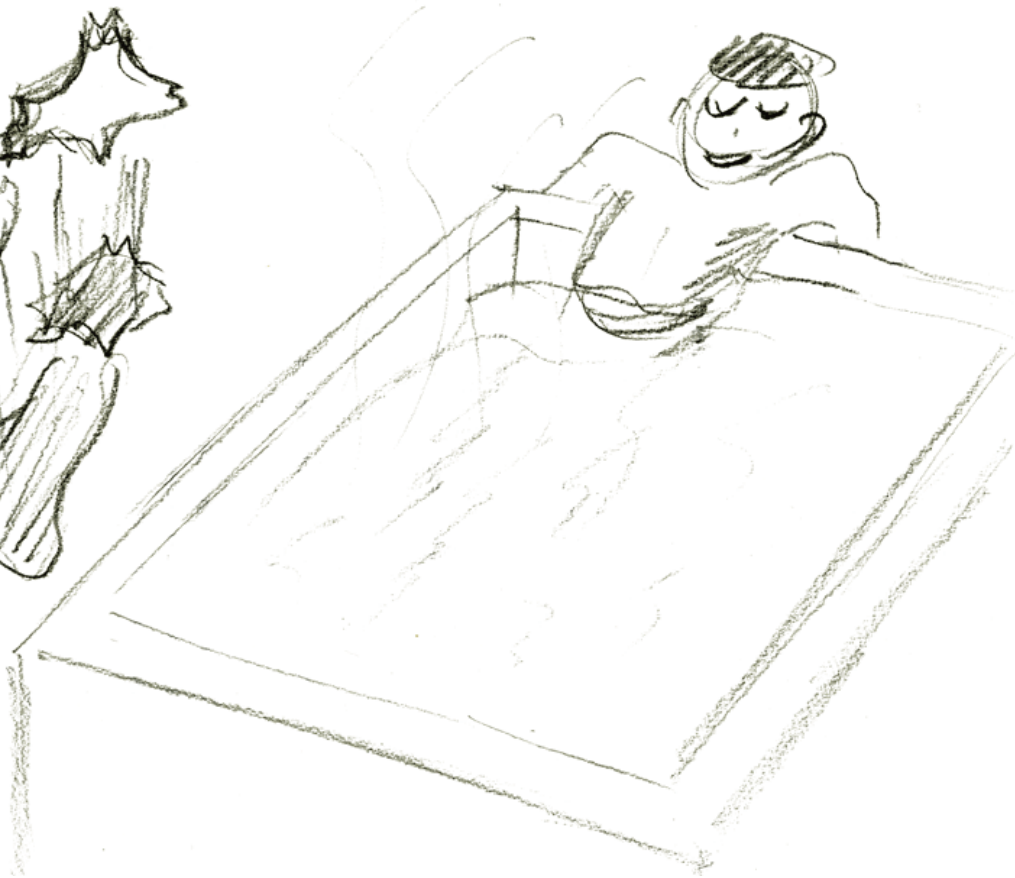
二階建てニッポン

着目した
問題点

日本は狭い



提案する製品（サービス）のフリーハンスケッチ



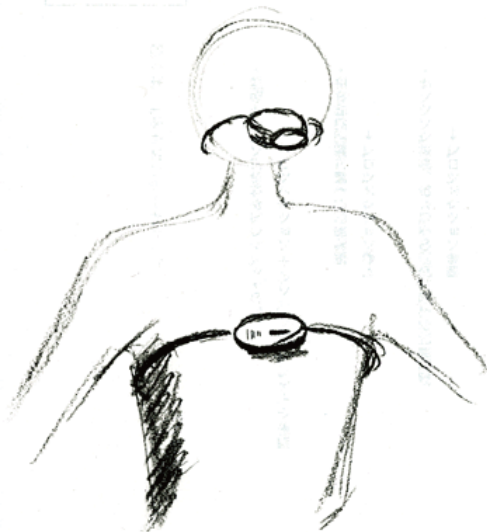
LifeStyle がどのように変化するかの解説図・スケッチ

シートの記入例 (こんな感じの...)

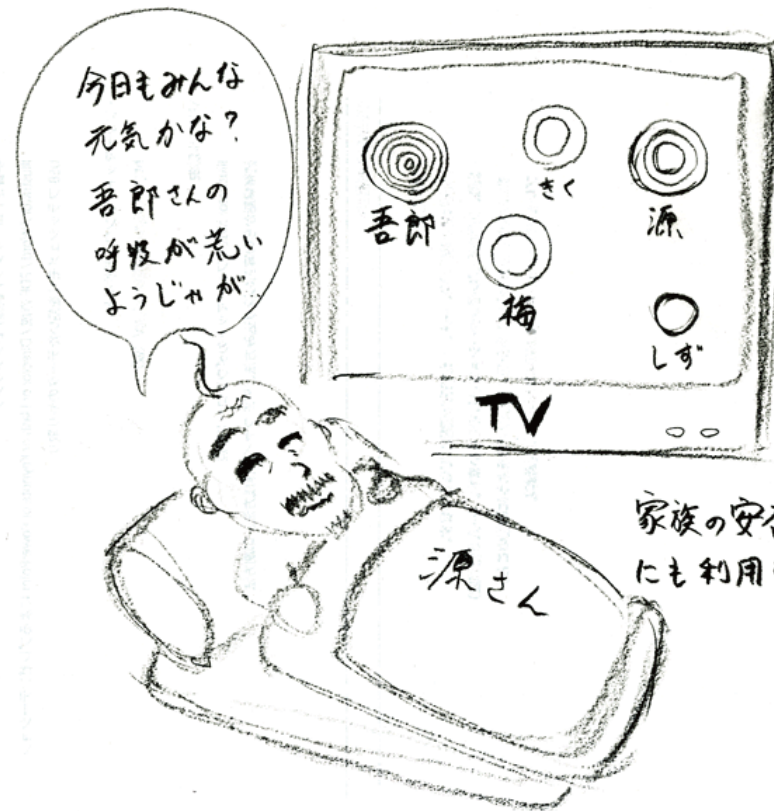
Idea sheet

アイデアの
タイトル

呼吸コミュニケーション

着目した
問題点寝たきりの高齢者の方は
コミュニケーションしにくい

口か胸に計測器をつける
呼吸データが無線で
送信され、公開される。



家族の安否確認
にも利用可能

提案する製品（サービス）のフリーハンドスケッチ

LifeStyle がどのように変化するかの解説図・スケッチ

【課外】実習課題（10のアイデア課題）

1. 配布されたA4用紙10枚の裏面に、学籍番号、氏名を記述
2. 【C】で自ら明かにした15年後の日常生活に潜む問題点を10個選択
3. 選んだ問題点10各々に対する解決策を含む製品（サービス）の解説シートを作成する。
4. 来週の早い時期までに、壁面に張はること。
（他の学生との発想の共有）

そのうえで、

5. 【D】のシートの作成を開始する。

▼次回までの課題▼

【C】15年後の生活の中に潜む問題点の調査

問題点の調査結果を、解りやすくまとめることによって、新しい視点を見出すことが可能。

「まとめかた」にこだわりをもって、表現にオリジナリティを付与しなさい。

【D】生活の中に潜む問題点の解決案

2つの製品(サービス)のアイデアを魅力的に表現しなさい。

上記に際し、【B】で調査した生体情報認識の何を用いる提案かを記述しなさい。

上記に2点に関する報告を、一人5分でおこなってもらいます。

製品デザインにおけるアウトプットの例

プロジェクション参照

インターンシップに関する説明

来週の総合実習 2、終了後
杉先生より、インターンシップに関する説明があります。
希望者は講義終了後、残ってください。